年間授業計画 様式例

足立工科 高等学校 令和８年度（３学年用） 教科 工業 科目 実習

教 科： 工業　　科 目： 実習　　単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 組

教科担当者：（1組：金子・長瀬・中野） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 工業技術基礎（実教出版） 自作テキスト ）

教科 工業 の目標： 工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通じて、機械現象を量的に扱うことに必要な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 工業的諸量の相互関係を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき判断し表現する力を身に付け、工業技術の進展に対応し解決するちからを養う。

【学びに向かう力、人間性等】 諸現象に関心をもち、自ら学び、工業の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 実習 の目標： 工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てることを目標とする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・課題については、一定の理解が得られたか。 ・調査・実験・研究では、調査方法、実験方法、研究方法が身に付いたか。	・計画について、常に検証し、よりよい方法を探る努力をしているか。 ・収集した情報を正しく精査し判断材料としているか。 ・実習の内容を分かりやすくまとめ、発表できているか。	実習の授業内容について理解し、実習に関心を持ち、自ら進んで課題解決しようとしているか。また、期限までにレポート提出が出来ているか。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	オリエンテーション 実習で行う内容などについて理解することが出来ているか。	実習指導書及び実習用具等の配布、実習上の注意を理解させる。	実習で行う内容などについて理解することが出来ているか。	○	○	○	3
1学期	【知識及び技能】 実習で学習したことを理解し、その知識を作業の中に取り入れながら実施できる。 【思考力、判断力、表現力等】 自ら思考して結果を予測しながら効率的に作業を進めることが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 班員と協力して実習に取り組む。期限までにレポート提出が出来る。	○スターリングエンジン ①切削工具の取り付けが正しくできる。 ②安全に配慮して機械の操作ができる。 ③０点合わせが正確にでき、切込みが正確にできる。 ④切削の状態を正確に把握でき、目的の形状、寸法まで正確に到達できる。 ⑤部品の組立が正しくできる。 ○ＮＣ ①ＮＣ工作機械の定義が理解できている。 ②Ｇ言語について理解ができている。 ③座標について理解ができている。 ④ＣＡＤＣＡＭソフトについて理解ができている ○原動機 ①ロビンエンジンの構造をりかいできる。 ②ロビンエンジンの分解を適正な工具を使用しながら適切に作業ができる。 ③ロビンエンジンの組立の作業工程通りに作業を進め、エンジンが作動する状態に調整することができる。 ④自動車の日常点検を理解し正確に点検ができる。	【知識・技能】 実習で学習したことを理解できているか。また、その知識を作業の中に取り入れながら実施できているか。 【思考・判断・表現】 自ら思考して結果を予測しながら効率的に作業を進めることが出来ているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全に配慮して作業に集中できているか。 加工の状態を把握できているか。 期限までにレポート提出が出来ているか。	○	○	○	33
2学期				○	○	○	39
3学期				○	○	○	30
							合計
							105